

## 第9回三島市総合計画審議会 議事録

- 1 開催日時 令和3年1月19日(火)午後1時30分～2時30分
- 2 開催場所 三島市役所本館第1会議室
- 3 出席者の氏名
  - (1) 審議会委員：大石委員、岡田委員、河野委員、鈴木委員、土屋委員、野村委員、稲田委員、平出委員、山下委員、中村 正蔵委員、石渡委員、松村委員、今野委員、石塚委員、藤沼委員、靱山委員、野田委員、上滝委員、中島委員、近藤委員、橋本委員、江口委員、渡邊委員  
欠席者：中村 仁委員、池田委員、長谷川委員、永倉委員、大川委員、宮川委員、村田委員、佐野委員
  - (2) 事務局職員：企画戦略部長  
(政策企画課) 鈴木課長、豊田室長、土屋副主任、松本主事、平川主事補
- 4 会議の公開・非公開  
公開
- 5 傍聴人  
1人
- 6 審議会の内容
  - (1) 開会
  - (2) 第8回三島市総合計画審議会委員意見に対する市の考え方  
※時間の都合上、説明及び質疑は省略(資料1)
  - (3) 議題  
基本目標1、2について  
基本目標3、4について  
基本目標5、6について  
その他  
※事務局より議題の①の基本目標1と2の修正を説明

### <質疑応答>

#### (委員1)

本分野においては、委員から出された多くの意見が上手に取りまとめられている。方向性に対して特に意見はないので、運用する方々が理念をしっかりと理解して、運用していただきたいと思う。

(委員2) 1危機管理体制について、3現状と課題の4つ目の■において、「自主防災組織は役員の高齢化が進んでおり、防災力を低下させない対策と～」とある。現在はほとんどが男性役員によって運営されているが、防災力低下の観点からも女性の参画を位置づける文章が必要だと感じる。例えば、「自主防災組織は役員の高齢化が進んでおり、女性の参画推進等防災力を低下させない対策と～」のような表記ではどうか。

(事務局) 女性の参画は重要であると認識しているので、いただいた内容に沿って修正を行いたい。

(委員 3) 13 障がい者福祉 P42 について、4 施策の方向、(2) 自立生活の支援において、「適正に」という文言が追加されているが、どのような理由で追加されたのか教えてほしい。

(事務局) 事例があったわけではない。変更理由について改めて確認する。

(委員 4) 11 子育て P35～36 について、「子育て」と大きなくくりで表記されているが、内容を見ると出産についても含まれている。国も少子化対策として、子育て支援の観点から様々な施策を講じているが、現状をみるとそこまで至ってもいない。結婚をしない人が多いことを解決していく必要がある。そのため、3 現状と課題の 3 つ目の■に 6 つ目の■の不妊・不育症の治療を移動していただきたい。結婚・出産についての取組と、次に生まれた子どもや子育て支援への取組に順番を入れ替えていただきたい。また、「子育て」という大きなくくりのタイトルではなく、「出産・子育て」というタイトルに変更してどうか。

(事務局) 現状と課題については、順序だてたほうが分かりやすいと思うので、検討させていただきたい。タイトルの変更については事業が部署を跨ぐため、協議させていただきたい。

※事務局より議題の①の基本目標 3 と 4 の修正を説明

< 質疑応答 >

(委員 5) 15 幼児教育・小中学校教育 P48 について、4 施策の方向、(2) 小中学校における教育力の向上、②新学習指導要領に沿った確かな学力の育成と GIGA スクール構想への対応において、追加された「外国語教育の充実により、コミュニケーション能力を効果的に育む」という表現が、外国語さえ話せればコミュニケーション能力が向上すると捉えられることはもったいない。「外国語教育の充実兼」のほうが、クリティカルシンキングなどの考え方もコミュニケーション能力に関わってくると思われるので、いかがだろうか。

(事務局) いただいた意見をもとに検討する。

(委員 6) 15 幼児教育・小中学校教育 P48 について、4 施策の方向、(2) 小中学校における教育力の向上、①心の教育の推進において、文章の「道徳教育やキャリア教育などのほか」とあり、道徳教育とキャリア教育が一つの文章でまとめられている。しかし、先週金曜日の県の総務教育会議において、キャリア教育の重要性が話題に上がった。高校でもキャリア教育は学校と地域が連携して取り組むことが重要であり、その前段の小中学校でも勤労や職業のみに関わらず広義のライフキャリアを考えるキャリア教育を進めていくことが大事であると話し合われた。方法として、小中学校から地域や企業と連携した特別活動等の中でキャリア教育授業を取り入れることで、進学後にも自分の生き方について考える種が芽生える機会になると思われる。可能であれば、キャリア教育を別建てとし、「学校と地域あるいは企業との連携を進める中で、ライフキャリアの意識を醸成する」という内容が盛り込まれれば、5 年後を見据えたより進んだ学校教育になると思われる。

(事務局) 実際には、学校と地域、企業が連携して取り組んでいる部分もあるが、今後、一層推進していくという意味で検討していきたい。

(委員 7) 20 多文化共生・平和 P58 について、4 施策の方向、(4) 平和都市活動の推進、①平和都市活動の推進において、1月22日にいよいよ「核兵器禁止条約」が発効される。SDGs の枠内には、「16 平和と公平をすべての人に」が含まれていないが、その点についてどのように考えているのか。

(事務局) 再度、内容を確認し必要に応じて追加を検討する。

(委員 8) 16 生涯学習について、内容をみると、4 施策の方向、(4) 青少年の健全育成、②青少年を育む地域づくりでは ICT の活用について記載があるが、ICT の活用は青少年のみならず、生涯学習の分野でも必要になってくると考えられる。ICT を活用した学びの場や学習が必要になってくる。また、3 現状と課題の 5 つ目の■で「老朽化が進む社会教育施設の計画的な修繕や、時代の変化に応じた適切な管理が求められています。」とあるが、現在の公民館施設は Wi-Fi 環境が整備されている一方で、zoom などが利用できる環境は整っていない。そのため、5～10 年先を見据えて ICT を活用した環境づくりを掲げてはどうか。

(事務局) P50 の①個の主体的な学びの支援や地域の学習拠点である公民館の機能充実の部分において、ICT 活用に取り組む内容を含めている。

※事務局より議題の①の基本目標 5 と 6 の修正を説明

< 質疑応答 >

(委員 9) 28 市街地整備について、1 目的において、「にぎわいのある中心市街地を形成すること」とあるが、4 施策の方向、(1) 三島駅南口などの都市機能の更新・集積、(2) 三島駅南北交通結節機能の充実、(3) 無電柱化の推進となっており、旧市街地の整備の関係が施策のほうで示されていないのではないかと懸念がある。22 商工業・新産業の中で、4 施策の方向、(2) 商業・商店街のにぎわい創出があるので、再掲でもいいので施策の方向に含めていかないとあいまいではないかと思うがいかがだろうか。

(事務局) いただいた意見を参考に検討したい。

(委員 10) 36 広報・広聴について、P102 の 38 行政運営にも関わる部分かもしれないが、4 施策の方向、(1) 広報・広聴活動の充実、④広聴活動の推進において、もう少し幅広く審議会やパブリックコメントなども含め、広聴の在り方や課題、余地などに該当する文言が含まれていないと思われる。

(事務局) 広聴の部分は、市民意識調査の結果でも満足度の数値が上がらず課題となっているため、記載について改めて検討したい。

(会長) 特にこれ以上意見がないようであれば、④その他に移りたいと思う。委員から追加で意見があればお願いしたい。

(委員 11)

計画全般で気になることとして、新型コロナウイルス感染症問題で、アフターコロナなどのコロナ後の社会体制はどうかなど、コロナ単体による単純な社会病理現象ではなく、経済的な損失や失業率、生活困窮など様々な問題を包含している。コロナを含めた経済復興には3～5年かかると言われている。そのため、本計画の前期計画期間に該当するため、時代が加速化する中で一つのテーマとして個々の項目とは別に、市のアフターコロナに対する取組について方針・指針を明示したほうがよいのではないかと。国の問題で言えば、経済成長と経済復興の問題、国債の多発と財政再建の問題、生活保障と失業者対策など、いくつかのテーマが出てくる。それらに対して、地方としてどのような政策が必要か、可能であれば前期計画において、項目とは別に前段で記載していただけたらと思う。

(事務局) ここまで計画策定が進んでいる中で、どのように掲載するか具体的な方針をこの場で示すことはできないが、検討したい。

- (4) 連絡事項
- (5) 閉会

以上